

④再処理施設

施設名		低レベル固体廃棄物 (本)				合計 (本相当) *1	貯蔵設備 容量 (本相当)
		ドラム缶	アスファルト 固化体	プラスチック 固化体	その他の種類 (本相当) *1		
(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設	前年度末の保管量	31,726	29,967	1,812	11,733	75,238	92,140
	当該年度の発生量	149	0	0	212	361	
	当該年度の減少量	0	0	0	228	228	
	年度末の保管量	31,875	29,967	1,812	11,717	75,371	
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)	前年度末の保管量	8,452	—	—	12,152	20,604	*15 74,750
	当該年度の発生量	1,096	—	—	675	1,771	
	当該年度の減少量	0	—	—	0	0	
	年度末の保管量	9,548	—	—	12,827	22,375	

施設名		低レベル固体 廃棄物(本)	高レベル固体廃棄物 (本相当) *1			合計 (本相当) *1	貯蔵設備 容量 (本相当)
		せん断被覆片等	使用済 フィルタ等	試料ビン等			
(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設	当該年度の発生量	—	15	0	5	20	10,320
	当該年度の減少量	—	0	0	0	0	
	年度末の保管量	—	4,907	302	1,333	6,542	
日本原燃(株) *16 再処理事業所 (再処理施設)	当該年度の発生量	62	—	—	—	62	2,000
	当該年度の減少量	0	—	—	—	0	
	年度末の保管量	219	—	—	—	219	

施設名		*17 ガラス 固化体 (本)	低レベル液体廃棄物 (m ³)			高レベル 液体廃棄物 (m ³)
			低放射性 濃縮廃液	スラッジ	廃溶媒	
(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設	当該年度の発生量	0	*18 35	2	0	0
	当該年度の減少量	0	0	0	0	20
	年度末の保管量	247	2,720	1,119	106	384
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)	当該年度の発生量	50	—	—	—	—
	当該年度の減少量	0	—	—	—	—
	年度末の保管量	107	—	—	—	—

*15 貯蔵設備容量には、廃樹脂貯槽(約190m³×3基、約80m³×2基、約120m³×1基)分の4,250本相当分を含む。

*16 せん断被覆片等は1,000ℓドラム。

*17 (独)日本原子力研究開発機構 再処理施設のガラス固化体は120ℓ容器。

日本原燃(株)再処理事業所(再処理施設)のガラス固化体は高さ約1,340mm、外径約430mmの容器。

*18 廃液貯槽の廃液、ライン洗浄水等を含む。

⑤廃棄物埋設施設、廃棄物管理施設

施設名		低レベル固体廃棄物 (本)			合計 (本相当) *1	貯蔵設備 容量 (本相当)
		ドラム缶	アスファルト 固化体	その他の種類 (本相当) *1		
日本原燃(株) 濃縮・埋設事業所 (廃棄物埋設施設)	前年度末の保管量	0	—	0	0	80
	当該年度の発生量	0	—	0	0	
	当該年度の減少量	0	—	0	0	
	年度末の保管量	0	—	0	0	
日本原燃(株) 再処理事業所 (廃棄物管理施設)	前年度末の保管量	756	—	28	784	1,200
	当該年度の発生量	156	—	16	172	
	当該年度の減少量	0	—	0	0	
	年度末の保管量	912	—	44	956	
(独)日本原子力研究開発機構 廃棄物埋設施設 *19	前年度末の保管量	—	—	—	—	—
	当該年度の発生量	—	—	—	—	
	当該年度の減少量	—	—	—	—	
	年度末の保管量	—	—	—	—	
(独)日本原子力研究開発機構 廃棄物管理施設 *20	前年度末の保管量	(513) 16,193	528	(40) 11,436	(553) 28,157	42,795
	当該年度の発生量	(10) 172	6	(0) 158	(10) 336	
	当該年度の減少量	0	0	0	0	
	年度末の保管量	(523) 16,365	534	(40) 11,594	(563) 28,493	

施設名		低レベル 液体廃棄物 (m ³)
日本原燃(株) 濃縮・埋設事業所 (廃棄物埋設施設)	当該年度の発生量	—
	当該年度の減少量	—
	年度末の保管量	—
日本原燃(株) 再処理事業所 (廃棄物管理施設)	当該年度の発生量	0
	当該年度の減少量	0
	年度末の保管量	0
(独)日本原子力研究開発機構 廃棄物埋設施設 *19	当該年度の発生量	—
	当該年度の減少量	—
	年度末の保管量	—
(独)日本原子力研究開発機構 廃棄物管理施設	当該年度の発生量	—
	当該年度の減少量	—
	年度末の保管量	—

*19 放射性固体廃棄物及び放射性液体廃棄物の発生はない。

JPDRの解体に伴う固体廃棄物約1,670トンが埋設されている。

*20 () 内の数値は当該施設からの発生量で下段の数値の内数。下段の数値は管理施設での管理量合計を示す。

貯蔵設備容量は、加工施設・廃棄物埋設施設用を含む。